

## 会議録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称		令和4年度 未来戦略創出会議(第3回)
事務局(担当課)		政策経営部企画課
開催日時		令和4年6月13日(月) 11時00分~12時00分
開催場所		庁議室(本庁舎5階) ※一部の委員・幹事はZoom会議にて出席
議題		(1)令和3年度豊島区各会計仮決算について
公開の 可否	会議	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由 豊島区行政情報公開条例第7条第1項第5号による
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	区長・副区長(2)・教育長・政策経営部長・国際文化プロジェクト推進担当部長・総務部長・危機管理監(欠席)・施設整備担当部長、区民部長・文化商工部長・環境清掃部長・保健福祉部長・健康担当部長・池袋保健所長・子ども家庭部長・児童相談所設置準備担当部長・都市整備部長・地域まちづくり担当部長・建築担当部長・土木担当部長・会計管理室長・教育部長・選挙管理委員会事務局長、監査委員事務局長、区議会事務局長
	幹事	企画課長・財政課長・行政経営課長(欠席)・区長室長・広報課長・総務課長
	説明者	会計管理室長、財政課長
	事務局	企画課企画調整グループ係長

## 審議経過

### (1) 令和 3 年度豊島区各会計仮決算について

**説明者** 資料 4-3-1-①に基づき、令和 3 年度豊島区各会計仮決算について説明。

一般会計を中心に、100 万円単位で説明する。令和 3 年度一般会計の予算現額は 159,604 百万円、収入済額は 148,973 百万円、収入率は 93.3%である。支出済額は 143,695 百万円、執行率は 90.0%、いわゆる形式収支である差引残額は 5,278 百万円である。歳入額は前年度の約 1553 億円に続いて 2 番目に大きい額となっている。また、歳入規模は平成 26 年度以来 8 年連続で 1,200 億円を上回り、特別区税は約 34,531 百万円で過去 2 番目となっている。

対前年度比について、一般会計の予算現額は 5,457 百万円の減、収入済額は 6,288 百万円の減、収入率は 0.8 ポイントの減、支出済額は 6,772 百万円の減、執行率は 1.2 ポイントの減、差引残額は 484 百万円の増となっている。

続いて一般会計款別一覧表について説明する。特別区債の予算現額 5,808 百万円に対し収入済額は 520 百万円、収入率は 9.0%であり、歳入の収入率が上がらなかった一因となっている。また、歳出については、教育費の差引額が 1,739 百万円で、執行率は 84.0%となっている。これは池袋第一小学校の改築事業経費が、執行予定を下回っていることが大きな要因となっている。文化商工費の差引額が 1,015 百万円、執行率が 85.2%となっている。これは、中小商工融資の申請が見込みを下回っていることや、未来財団やスポーツ関係施設の残額が影響したためである。都市整備費については、差引額が 2,773 百万円で、執行率は 85.5%である。南池袋 2 丁目、C 地区の市街地再開事業経費が 1,250 百万円となっている。特別会計の款別一覧については資料を参照されたい。

次に、一般会計実質収支に関する調書であるが、令和 3 年度歳入歳出差引額 5,278 百万円から翌年度へ繰り越すべき財源である繰越明許費繰越額 2,716 百万円を控除したものが、実質収支額 2,561 百万円となる。また、この実質収支額から前年度実質収支額 3,862 百万円を控除したものが、単年度収支額マイナス 1,300 百万円となる。実質収支のうち地方自治法第 233 条の 2 の規定による基金繰入額については、平成 25 年度から実質収支額全額を財政調整基金に積み立てることになっているため、同額の 2,561 百万円となる。なお、令和 3 年度末の財政調整基金が 21,995 百万円であるので、決算剰余金 2,562 百万円を積み立てると合計 24,556 百万円となる。また、介護会計を含めた基金全体の合計額は 50,686 百万円となる見込みである。5 月末現在で令和 3 年度と令和 2 年度の基金残高を比較すると、介護会計を含む基金全体では、12,253 百万円の増加となっている。

**区長** 基金全体が増えた要因は何か？

**説明者** 歳入が当初考えていたよりも多かったことと、歳出がコロナ禍の影響で抑えられていることが要因であると考えられる。

**説明者** 資料 4-3-1-②に基づき説明。

まず、財調交付金と特別区民税の推移について説明する。特別区民税は令和2年度まで、リーマンショックで下がった平成21年度から、右肩上がり確実に増えてきた。令和2年度決算は315億円と、過去最大になっている。一方、財調交付金についても、リーマンショックで下がった後は増加傾向にあり、令和元年度は過去最大の337億円となっている。その後、新型コロナウイルスの影響を受けた令和2年度は298億円となり、約40億円下がっている。令和3年度当初予算については、令和2年度より増えるとは考えにくかったため、特別区民税を292億円、財調交付金を282億円と見込んでいた。実際は、見込んでいたほどの影響はなく、財調交付金、特別区民税、地方消費税交付金の3つを合わせると、当初予算と比較して、約90億円増えている。

続いて、起債残高と基金残高の推移について説明する。令和3年度の基金残高は過去最大の446億円である。2番目は平成30年度の445億円である。財調基金については、令和3年度が220億円となっており、平成27年度の226億円に続いて、過去2番目である。貯金から借金を引いた金額については、令和3年度が過去最大の218億円となっている。2番目は平成30年度の215億円である。資料のグラフには、平成元年度以降のものが記載されているが、このグラフの中で最大であれば過去最大となる。令和3年度一般会計決算については、資料を確認されたい。

**区長** 貯金から借金を引いた金額のマイナスが続いていた時代からは想像もできない素晴らしい数字である。今年区制施行90周年であり、まちを変えるチャンスだと考えている。池袋のブランドづくりにも励み、勢いをつけてさらに良いまちにしていきたい。  
⇒報告の通り了承する。

会議の結果	(1)令和3年度豊島区各会計仮決算について →(1)について了承
提出された資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 4-3-1-① 令和3年度豊島区各会計仮決算調書</li> <li>・資料 4-3-1-② 令和3年度一般会計決算について</li> </ul>